三条×只見×南会津

コラボ商品など

営業戦略室
☎34－5605

新潟県と福島県を結ぶ八十里越の開通を見据え
両地域の地域資源を活用した商品を開発しています

◀ 米焼酎「八十里越」

下田産と只見町産の棚田米から作りました。八十里越が結ぶ地域限定で販売しています。

こちらで買えます

道の駅 漢学の里しただ
庭月451-1　☎47-2230

◀ 下田の蕎麦

下田産のそば粉「とよむすめ」を原料に、南会津町で加工製造しました。乱切りで手作り感を出した麺は、ツルツルとした食感が特徴です。

こちらで買えます

道の駅 漢学の里しただ
庭月451-1　☎47-2230
いい湯らてい
南五百川16-1　☎41-3011

純米吟醸「しただみ」▶

下田郷の（し）、福島県の只見町の（ただ）、南会津の（み）の頭文字から名付けました。五百万石という、新潟県で開発された酒米を使っています。フルーティーですっきりした口当たりです。

こちらで買えます

福顔酒造
林町一丁目5-38　☎33-0123

こちらで買えます

村の鍛冶屋通販

ホームページ

▲ おぜしかプロジェクトの鹿革商品

尾瀬・南会津では鹿による食害が深刻化し、多い年には年間2,000頭もの鹿が駆除されています。鹿の大切な命を受け止め鹿革を活用するため、グリップカバーなどで三条の刃物とのコラボ商品を開発しました。

10月31日(木)まで　八十里越七名山 山&湯巡りキャンペーン

三条市と只見町の山に登って写真を撮影し、入浴施設利用のときに写真を見せるともらえるスタンプ2つで、オリジナル手ぬぐいをプレゼントします。

詳しくはこちら

ホームページ

オリジナル手ぬぐい

ブランドロゴ・キャッチコピーをご利用ください

「一里が十里に感じられるほど険しく、長大な山道」と言われる風景を「八十里越街道」の文字の中に表現しています。観光ツアーやイベントのポスター、お土産の包装や商品ラベルなど、八十里越街道のPRにつながるものであれば、どなたでも利用できます。ロゴのシールも無料で提供します。

八十里越街道
歴史と文化をつなぐ道

詳しくはこちら

ホームページ

新潟県側の玄関口　八木ヶ鼻温泉 いい湯らてい

新潟景勝100選の八木ヶ鼻を一望できる日帰り温泉施設で、至福のひとときを。
八十里越の開通を令和8年10月1日と想定し、カウントダウンキャンペーンをしています。

ところ　南五百川16-1
営業時間　午前10時～午後9時 ＊最終受付 午後8時15分
定休日　毎月第3水曜日 ＊祝日のときは翌日
入館料　大人900円　小学生600円
＊貸出タオル150円
問い合わせ　☎41－3011

ホームページ

歴史の道 八十里越

■八十里越の古い街道は、いつごろからどのように使われていたのでしょうか

八木神社宮司
歴史の道八十里越調査保存整備委員会委員
三条市文化財保護審議会委員
石澤 功さん

八木ヶ鼻周辺にある遺跡から発掘された縄文時代の出土品を見ると、奥会津地方と同じような縄文土器などが見つかり、当時から人々の往来があったことがうかがえます。旅をする人は、できるだけ越えやすい峠を通ることから、そこが道となり、時代とともに移り変わりながら街道として整備されてきたのではないでしょうか。縄文時代の人が使っていたと思われる道も、今とそう変わらないことは興味深いですね。

江戸時代に会津地方が大飢饉になったときには、越後側で買い入れられた救援米が八十里越を越えて奥会津の人々を救いました。また、子どもたちが飢え死にしないよう、奥会津と下田でかなりの期間、互いの家に預け合ったこともあったようです。これをきっかけに会津の人々は八十里越を命をつなぐ街道だと認識し、大改修に向けて働きかけを行いました。その結果、江戸時代末期に八十里越の大改修工事が行われ、人やモノの往来が盛んになり、会津と下田の距離をさらに近づけました。

また、下田では、地元の田植えが終わると八十里越を越えて奥会津の田植えや養蚕の手伝いに行く「手間取り」という慣習がありました。中には縁があって現地で結婚する人もいて、只見では「三代さかのぼれば越後の人」と言われたそうです。

大正時代に鉄道が開通すると、八十里越の往来は一気に減りましたが、下田と会津には昔からさまざまなモノの流通があり、人々の交流を深めてきた歴史があります。

■八十里越の開通に期待することは何ですか

職業柄、国道289号八十里越のトンネル工事などの安全祈願祭に何度も携わってきました。

以前から八十里越の歴史に興味があり、開通すれば現実の姿として往来、交流ができることに、大昔からの時空を超えたような達成感や期待感があります。会津の人たちが人情深いことはさまざまな文献からも分かりますが、なぜ越後の人に温かくしてくれるのか、どうしてここまで義理堅いのかと思います。開通により、人々の交流とともに歴史やエピソードがさらに広がっていくことを期待しています。

十八坂九十九折

椿尾根切り通し

歴史の道 八十里越の調査

生涯学習課
☎46－5205

八十里越は、平成8年に文化庁の「歴史の道百選」に選定されました。三条市では、国の指定史跡の指定を目指し、魚沼市、福島県只見町と連携して調査し、江戸時代に大改修された「天保古道」、明治時代に大改修された「明治新道」を確認しました。「明治新道」は、緩やかな傾斜で荷車が通れるようにするための、いくつも折れ曲がって続いている九十九折や、丘を部分的に掘り込んで通行ができるようにした切り通しが特徴です。

＊歴史の道八十里越は、現在未整備のため通行できません。